

キャンパスフェスタで展示を学ぶ

メタデータ	言語: ja 出版者: 静岡大学教育学部 公開日: 2013-04-16 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 小西, 潤子 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10297/7211

キャンパスフェスタで展示を学ぶ

音楽教育講座 小西潤子

静岡大学創立 60 周年を控え、大学広報のアウトリーチとして、2008 年第 1 回静大フェスタが静岡市の青葉通りで開催された。野外会場ならではの市民との交流を目指したイベントであったが、天候に左右されるという難点があった。2009 年には会場をツインメッセに移し、2010 年にはグランシップ大ホールを借り切って開催された。音楽教育講座は、2008 年には茶歌プロジェクトの参加とガムラン紹介、2009 年にはガムランの展示と演奏、2010 年には学部展示物の作成と作曲研究室紹介、音楽アウトリーチ研究会によるリコーダー演奏と毎年出展してきた。2011 年度は第 1 回「キャンパスフェスタ in 静岡」として、大学内を会場とする催事とされ、筆者が総務会メンバーとして教育学部展示の取りまとめ役を引き受けることになった。そして、学生とともに企画し、展示と運営を行った。

会場は、大学会館のUHラウンジ、図書館ハーベストルーム、B棟ピロティ（予定）の3か所に分かれた。UHラウンジでは、美術、書道、音楽（作曲研究室）の作品展示、社会科学教育の作成した「静大はてなを探そう」、心理学研究室による「爆笑問題が来た！彼らの方向オンチは治るのか？」のパネル展示、書道によるパフォーマンスを行った。

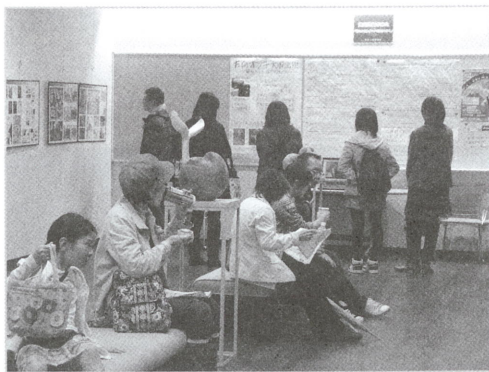


写真 1 展示に見入る来場者



写真 2 作曲研究室のメンバー



写真 3 書の展示



写真 4 書のパフォーマンス

図書館ハーベストルームでは、同窓会による教員志望者相談会（写真5）、附属学校の展示、教職大学院の紹介と模擬授業（写真6）を開催した。初めての試みということもあって、まだ学生教職員へのイベント周知が徹底しておらず、思ったように参加者を集めることはできなかったが、それでも参加した方々にとっては充実したひと時となったと思われる。

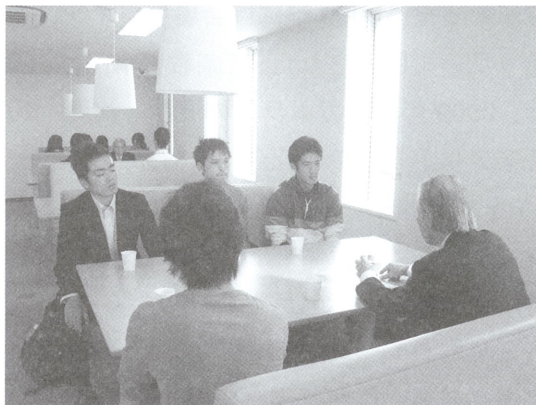


写真5 教育現場についての相談会



写真6 教職大学院模擬授業

B棟ピロティ会場は、会場調整が不十分だったことと当日の悪天候により、B棟内の教室を利用して、技術科による「つくって あそんで たのしもう」と題する子ども向けのものづくり体験を実施した（写真7、8）。

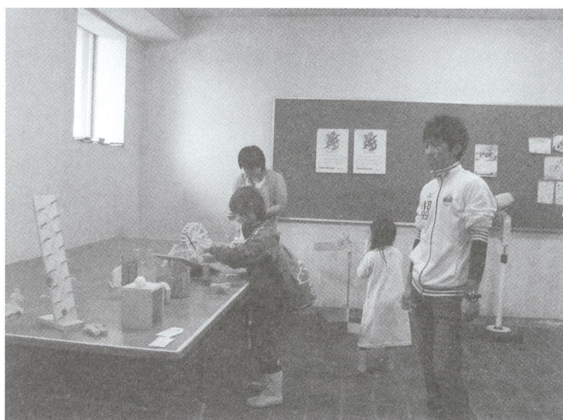


写真7 技術科ものづくり①



写真8 技術科ものづくり②

フェスタ全体を通して、レールやハンガーの取り付けなど準備にはそれなりの時間と労力を費やし、他教科における成果品の展示に必要な技術を学んだところもあったが、「地域の人々に大学を知っていただく」という催事の目標に近づいたという実感を持つには至らなかった。回を重ねるごとにイベントの周知徹底と改善がはかられることを期待したい。